



このマークは社会福祉協
議会の「社」を図案化し、
「手を取りあって、明るいま
あわせな社会を建設する姿」
を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第125号
平成30年1月19日発行
編集・発行

社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ <http://www.iwaki-shakyo.com>
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com



新年おめでとうございます。
皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、日頃より本会の福祉活動にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
本年も市民の皆様とともに、「誰もが住み慣れた地域で、安全で安心して暮
らし続けることができるまち いわき」の実現を目指し、役員一丸となり地
域福祉の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。
皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶いたします。



年頭のごあいさつ

社会福祉法人いわき市社会福祉協議会

会長 強 口 暢 子
こわ ぐち のぶ こ

門松づくりと友愛訪問 (川前地区協議会)

目次

年頭のごあいさつ	1
いわき市住民支え合い活動づくり事業	2
お互いさまの地域づくり！住民支え合い活動事業	3
ボランティア活動センター通信	4～5
ボランティア基金配分結果報告	
社協通信	6～7
地区協議会だより	8



社協のイメージキャラクター「ふくみちゃん」

第2層協議体と構成メンバー

第2層協議体は、地域づくりにおける意識の統一をはかる場として、市内13地区（旧市町村域）のエリアに設置しています。

構成メンバーは、平成27年～平成28年度に実施した「いわき市住民支え合い活動づくりモデル事業」により創出された支え合い活動の当事者や高齢者見守り隊、その他既存のボランティア団体、民間企業、NPO法人、福祉施設など20名程度で構成しています。

具体的な取り組み

基本となる取り組みは、地域を調べ「みつける」ことです。

始めに、同じ地域で暮らす住民同士が集まり、地域にはどのような人、物、社会資源があるのかを一つひとつ洗い出していきながら、情報を整理していきます。

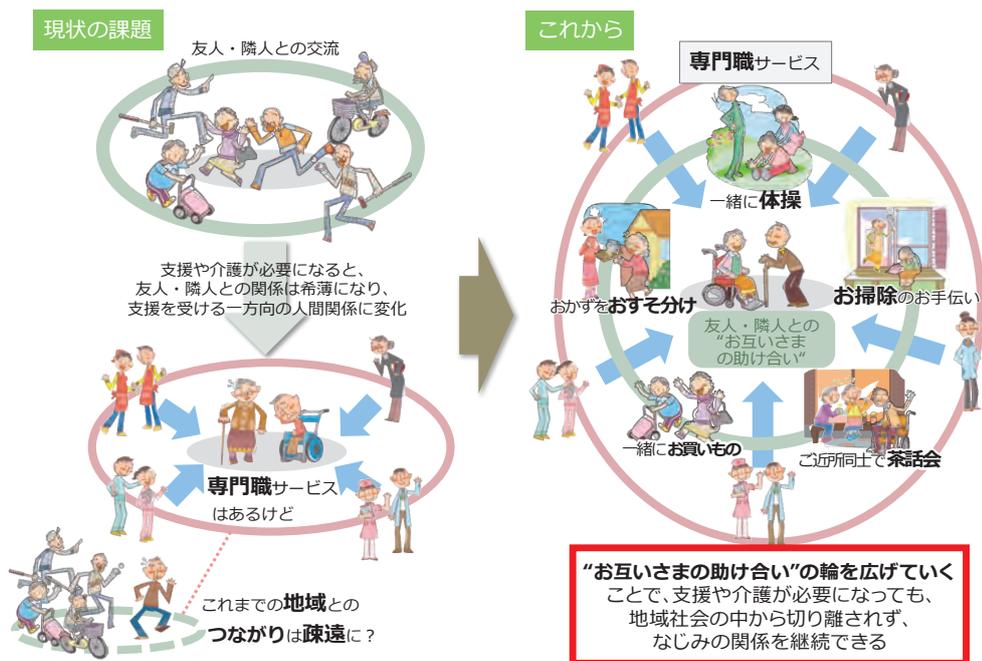
次に、実際にその地域で暮らす住民がどのようなことで困っているのか、どのようなことで暮らし難さを感じているのかを把握し、生活上の課題を解決していくためのアイデアを出し合います。

そして最後に、生活課題に対して、住民の力で解決できることはどんなことかを話し、課題解決に必要な支え合い活動を考え、住民同士が支え合うための仕組みを作っていきます。

いわき市社会福祉協議会では、いわき市から事業委託を受けて、地域住民や企業など多様な主体による生活支援サービスの充実をめざし、地域で暮らす高齢者をはじめ、子育て世代、子どもや障がい者など何らかの関わりやつながりが必要とする方々にどのような支援が求められているのかを考え、それに対してできる・やりたい・必要と考える「住民支え合い活動」の創出を支援し、地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現を目指すことを目的に、「第2層協議体」を設置し新たな支え合いの推進に向けて事業に取り組んでいます。

新たな支え合いの推進に向けて
 いわき市
 住民支え合い活動づくり事業

第2層協議体が目指す姿について



第2層協議体の開催

各地区の第2層協議体は、どなたでもご参加いただけます。次回会議は、2月中旬に開催予定となっておりますので、関心のある方はぜひご連絡をお願いします。



勿来地区第2回会議

住み慣れた自宅で暮らし続けるためには、専門職によるサービスのみではなく、住民による支え合い活動（ボランティア）を組み合わせ、重層的に支援する体制を整えていく必要があります。

出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング「新しい総合事業の移行戦略地域づくりに向けたロードマップ」参照

取り組んでみませんか? お互いさまの地域づくり

住民支え合い活動事業

主な活動内容

- 1 地域の福祉課題や生活支援ニーズの解決に向けて協議する協議体の設置
- 2 避難行動要支援者マップを作成し、支援対象者の把握や地域資源を確認
- 3 住民支え合い活動への理解を深めるための研修会の開催
- 4 支え合いサポーターの養成・登録
- 5 日常的な見守りや声掛け、話し相手などの訪問活動
- 6 住民同士の交流の場（つどいの場）の創出と展開
- 7 生活支援（ごみ出し、窓拭き、買物代行等）を実施
- 8 その他関係する活動



いわき市社会福祉協議会では、住民相互による自主的な支え合い活動を支援する体制づくりを進めています。

本事業では、地域住民の生活圏域となる行政区・自治会等を指定し、活動に対する助成や情報提供などを行います。

また、地域の福祉課題を共通テーマとして、第3層協議体（住民組織）を形成し、課題解決に向けて住民・関係機関や本会が協働し、生活に不安を抱える方々の見守りや支援する仕組みづくりと地域は地域で支え合う自主的福祉活動の推進を図ります。

地区名	実施地区／団体名	地区名	実施地区／団体名
平	平第24区／城山結いの会	遠野	上根本行政区／住民支え合い会
	平第48区／愛結いの会	小川	塩田地区
小名浜	玉川町西区	好間	田代・沼平地区
	永崎区	三和	上市萱地区／上市萱福祉支援クラブ「和」
勿来	南台1・2区／南台ひまわり会	田人	入旅人大字区／わが町協力隊289
常磐	下船尾地区／船尾いきいきサポーターの会	川前	川前3区（山下谷地区）
内郷	高坂9区／高坂9区つどいの会	久之浜・大久	西町1区／西町1区ふれあい協議会
四倉	新町地区／新町笑顔の会	合計 市内15地区	

活動紹介



田人地区：交流の場（つどいの場）



常磐地区：草刈りの手伝い

この他にもさまざまな取り組みを行っています。詳しくは、地域福祉課 ☎23-3320（代）まで

ボランティア活動センター通信

ボランティア紹介

『NEWESTAR 21』 ニューウエスターゼロトウワン

私たちは、福島高専の1～五年生二十一名で活動している学生団体です。活動を始めてから二年目になりました。

活動は大きく三つに分かれています。

一つ目は、小・中学生へのプログラミングなどの学習支援です。いわき市だけでなく、県内の他市町村でもプログラミング教室を開催しています。

二つ目は、高齢者の方のお宅へ直接伺って、パソコンなどのIT機器の使い方を教える活動です。

三つ目は、いわき市で四百年以上の歴史がある「遠野和紙」の継承支援活動です。今年度は、入速野中学校の二年生と共同で遠野和紙のロゴマーク制作を行い、遠野和紙のPR活動を行いました。行灯づくりの講座も行っています。

これからも応援よろしくお願いします！



■お問い合わせ先 newestar021.fukushima@gmail.com

平成29年度

「いわき市ボランティアフェスティバル」を開催しました!

平成29年10月29日(日)いわき市社会福祉センターにおいて、市内のボランティア団体やボランティアに興味のある方などを対象に、平成29年度「いわき市ボランティアフェスティバル」を開催しました。

特定非営利活動法人ツークンフトロカール理事長の大田原邦彦氏を講師に「スポーツを活用して広がるまちづくり支え合い活動」と題して講演いただき、また、午後はボランティア団体交流会として、活動紹介のブース展示等を行いました。



ボランティア団体交流会



大田原氏の講演

ボランティア保険のご案内 ～いざというときのために～

「ボランティア活動保険」とは、ボランティア活動中に、ボランティア自身がケガをした場合や、他人の身体・財物に損害を与えた場合などに補償されます。

その他に、ボランティア団体等が主催する行事において、参加者がケガをした場合や主催者側が賠償責任を負った場合などに補償される「ボランティア行事用保険」もあります。

安心して活動するためにも、ボランティア保険に加入されることをお勧めします。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

ボランティア活動保険の年間保険料

A プラン 350円 B プラン 510円
天災Aプラン 500円 天災Bプラン 710円

※平成30年度分保険加入は3月から申し込みが可能です。

いわき市ボランティア活動助成金配分結果報告

本会は、いわき市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成・助長することを目的に「いわき市ボランティア基金」を設置しています。

これまで、ボランティア活動のための研修会、資機材の整備、福祉教育活動などさまざまな分野へ幅広く助成金を配分しています。

- ◆ボランティア基金造成額
5億51万6,163円
(平成29年3月31日現在)
- ◆平成29年度までの助成実績
 - ・助成団体数 371団体
 - ・助成総額 8,727万0,257円

平成29年度助成金配分結果 15団体 総額280万円

助成団体名	助成額	事業内容
勿来地区ボランティア連絡会	68,000円	広報活動に必要な広報紙発行
ラ・エトワール ボランティアグループ	126,000円	音楽ボランティア活動に必要な音響機材等整備
特定非営利活動法人 おたすけ倶楽部	130,000円	地域支援事業等周知活動に必要な機材整備
いわき市ボランティア連絡協議会	167,000円	広報紙発行、団体交流会開催、広報活動に必要な機材整備
CAPいわき	169,000円	広報活動に必要なリーフレット及び通信用封筒作成
特定非営利活動法人 めんたるサポートBig Bearふくしま	173,000円	傾聴カウンセリングカフェ等に必要な機材整備
いわき点訳グループ	190,000円	点訳活動に必要な機材整備
いわき市重症心身障がい児(者)と家族の会 スマイルリボン	198,000円	広報活動に必要なパンフレット・ポスター及び広報紙発行
NEWSTAR 021	200,000円	キッズサマーキャンプ・プログラミング及び広報用パンフレット作成
いわき市ペタンク連盟	200,000円	スポーツレクリエーションペタンクの普及に必要な機材整備
特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター	200,000円	多世代による地域交流と学習支援の開催
ジャムハート	200,000円	和太鼓演奏等音楽ボランティアに必要な機材整備
視覚障害者サポートグループ ゆかり	200,000円	視覚障がい者サポーター講座開催
いわき市手をつなぐ育成会	200,000円	いわき市手をつなぐ育成会設立50周年記念誌発行
いわき市社会福祉協議会 ボランティア活動センター	379,000円	いわき市ボランティアフェスティバル開催、ボランティア活動保険助成
合計	2,800,000円	

ボランティア活動助成金配分を受けて

視覚障がい者サポーター講座を開催

視覚障害者サポートグループ ゆかり(縁) 代表 半沢 美子

平成21年度に発足した当グループは、視覚障がい者の外出支援や交流の場の提供、市民への啓発活動を目的に、定期的にサポーター講座を開催しています。

助成配分を受けて、2日間にわたり開催した講座では、眼科医による眼科概論、当事者の心理、福祉サービス、サポート実習を行うとともに、本年度はパラリンピアンの中瀬勇輔さんにもお越しいただきました。

講座は、市民の方はもちろん、障がい者サービス

事業所やご家族の方にも受講し

ていただき「街で見かけた時にどうしてよいか分からなかったが、少し自身がついた」「中途失明の夫の心理が少しだけ理解できた」など、様々な感想をいただくことができました。

有意義な講座を、助成金のおかげで、開催することができ、本当にありがとうございました。



お問い合わせ先 ボランティア活動センター ☎38-6631

第43回

いわき市総合社会福祉大会を 開催しました！

社協通信



【市長感謝】	1名
【大会会長表彰】	82名 2団体
【大会会長感謝】	22名 8団体

福祉施設・団体・ボランティアなど福祉関係者及び市民の方々が一堂に会して、いわき市の福祉を総合的に高めていく「いわき市総合社会福祉大会」（主催＝いわき市・いわき市社会福祉協議会）を、平成29年11月22日（水）いわき芸術文化交流館アリオスで開催しました。

大会の席上、本市の福祉向上発展に多大な活躍をされた方々に表彰を行いました。

また記念講演として、いわき市手をつなぐ育成会会長 高村 トミ子 様から「育成会50年のあゆみ～いわき市手をつなぐ育成会50周年～」、脳外傷友の会うつくしま会員 渡邊 勝子様、渡邊 淳也様から「今を大切に」と題し講演をいただきました。

また、本大会において次の大会宣言が採択されました。

- 1 誰もが住み慣れた地域で、その人らしい自立した生活を送れるよう、住民主体による住民支え合い活動づくりを推進しましょう。
- 2 すべての人が、権利を侵害されることなく、地域で自立した生活を送れるよう、権利擁護のための取り組みを推進しましょう。
- 3 すべての子どもが、より良い環境のもとですこやかに成長できるよう、地域ぐるみで子ども・子育てを支援しましょう。
- 4 高齢者やひとり親家庭などが、孤立することなく、安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の連携による地域福祉活動を強化しましょう。
- 5 すべての障がい者が、社会で支え合いながら、共に暮らせる地域づくりを進めましょう。
- 6 生活に困窮する世帯が、孤立することなく、安定した生活を送ることができるよう、関係機関等が連携し、生活課題の解消や早期自立に向けた取り組みを進めましょう。
- 7 社会福祉施設はその機能を活かし、地域住民との交流を深め、積極的に地域貢献活動に取り組みましょう。
- 8 市民の社会福祉に対する理解と関心を高め、ボランティア活動への参加を促進し、ともに支え合う地域づくりを進めましょう。
- 9 共同募金が、社会福祉の増進に果たす役割と使命を理解し、募金活動をさらに推進しましょう。
- 10 東日本大震災からの復興を着実に推進し、地域住民が協働し、新たな地域コミュニティの構築に取り組みましょう。

第71回 福島県社会福祉大会が白河市で開催されました！

県内の社会福祉関係者が一堂に会し、「第71回福島県社会福祉大会」が平成29年11月10日（金）白河文化交流館コミネスで開催されました。

式典では、県内の福祉向上に多大な貢献をされた方々の表彰が行われ、本市からは60名の方が表彰されました。

【知事感謝】	2名
【大会会長表彰】	54名
【大会会長感謝】	2名
【赤い羽根共同募金運動 スローガン入選】	優秀賞 2名

地区協議会だより

市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

平地区協議会 (障がい者等ふれあい交流)



地域住民と障がい者との交流を図ることを目的に、障がい児者支援センター「エリコ」においてボランティア団体、民生児童委員、福祉施設等の協力により開催しました。

当日は約80名が参加し、体操や脳トレを行い、おいしいお弁当を食べながら楽しく交流を図りました。

◆詳しくは、平地区協議会 ☎22-6441まで

内郷地区協議会 (ボランティアスクール)



さまざまなボランティア活動を通して『福祉の心』を育むとともに多様な活動に関わる中で、ボランティアについて知ることや自分らしい活動を見つけるきっかけになることを目的に実施しました。

管内の小学4・5年生 22名が、年3回コースで、街頭募金等の活動を体験しました。

◆詳しくは、内郷地区協議会 ☎27-8707まで

好間地区協議会 (ボランティア教室)



好間公民館において、地域ボランティア活動の普及を目的に、お正月飾りを作りました。

出来上がった作品24個は、民生児童委員等の協力により、管内の一人暮らし高齢者宅へ「つどいの場」のチラシと一緒に届けられ、地域活動への参加呼びかけと見守り安否確認を行いました。

◆詳しくは、好間地区協議会 ☎36-2221(代)まで

田人地区協議会 (夕食配食事業)



民生児童委員や地域ボランティアの協力により、管内の高齢者(75歳以上の一人暮らし・80歳以上の高齢者世帯) 140世帯を対象に、手作り弁当の配食を行いました。

弁当を届けながらの訪問活動は、会話も弾み、普段以上の関係を築くことができたようでした。

◆詳しくは、田人地区協議会 ☎69-2111(代)まで

久之浜・大久地区協議会 (地域ふれあい交流会)



災害公営住宅と近隣住民との交流を目的に、台湾共同募金会の助成を受けて、地域ふれあい交流会を開催しました。

当日は、38名が参加し、健康体操や血圧測定等を行い、温泉や散歩などで気分転換をしながら、交流を深めることができたようでした。

◆詳しくは、久之浜・大久地区協議会 ☎82-2111(代)まで

編集後記

いわきサンシャインマラソン2018大会まで、1ヶ月を切りました。毎年、社会福祉協議会では、沿道で選手の皆さまへの応援ブースを設置しております。今年で9回目を迎えるこの大会を通じて、いわきの復興をめざし、今年も全国の皆さまとつながってきたいと思います。 広報委員一同

皆さまの声をお待ちしております!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしております。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。

住所：いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内)

ホームページ▶ <http://www.iwaki-shakyo.com>

メールアドレス▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市社協 ホームページ

